

問題A

問題Aか問題B（裏面）を選んで解答せよ。

つぎの文は『今昔物語集』巻十六第二十八話の一節である。これについて後の設問に答えよ。

なお、解答はすべて解答用紙に記入せよ。問題用紙は持ち帰ること。

此ノ死タル馬買タル男ノ思ハク、「我レ観音ノ示現に依テ、①藁筋一ツを取テ〔a〕三ツニ成ヌ。柑子亦（b）布三段ニ成ヌ。此ノ馬ハ仮ニ死テ、生返テ我ガ馬ト成テ、布三段ガ此馬ニ成ムズルニヤ」ト思テ、買ナルベシ。（c）然ラバ、男手ヲ洗ヒロヲ漱テ、（d）長谷ノ御方ニ向テ礼拝シテ、「若シ此レ②御助ケニ依ナラバ、速ニ此ノ馬生サセ給ラム」ト念ズル程ニ、馬目ヲ見開テ、頭ヲ持上テ起ムトスレバ、男寄テ手ヲ係テ起シ立テツ。喜シキ事無限シ、「若シ人モゾ来ル」ト思テ、漸ク隠タル方ニ引入レテ、時替マデ息マセテ、③本ノ様ニ成ヌレバ、人ノ④家ニ引入テ、布一段ヲ以テ賤ノ鞍ニ替ヘテ、此ニ乗テ京ノ方ニ（e）上ルニ、宇治ノ程ニテ日暮ヌレバ、人ノ家ニ留テ、今一段ヲ以テ馬草、我ガ粮ニ成シテ、曙ヌレバ京へ上ルニ、（f）九条渡ナル人ノ家ヲ見ルニ、物へ行ムズル様ニ出立チ騒グ。

問〇 選択した問題の種類を記せ。

問一 傍線部①～④の読み方について歴史的仮名遣いを用いて答えよ。

問二 空欄〔a〕に当てはまる語句を答えよ。

問三 （b）「布三段」について（1）この時代の布は現在のどのようなものか、（2）三段は何メートルか答えよ。

問四 （c）「然ラバ」は確定条件であるべきであるが、（1）確定条件の表現に直せ、また（2）バの二種類の条件構文について説明せよ。

問五 （d）「長谷」と書いて「はつせ」と読むのはなぜか、説明せよ。

問六 （e）「上ルニ」について（1）読み方を平仮名で記し、（2）京（京都）に対する「上ル」の二種類の意味用法について説明せよ。

問七 （f）「九条渡ナル人ノ家」を現代語訳せよ。

問八 『今昔物語集』が未完の書であるといわれる理由を説明せよ。

問九 『今昔物語集』で描かれている地域を三つ答え、それは現在のどこかも〇〇（現在の〇〇）の形式で記せ。

問十 『今昔物語集』の説話の類型について簡潔に説明せよ

問題B

問題A（裏面）か問題Bを選んで解答せよ。
 つぎの文は『今昔物語集』巻十四第三話の一節である。これについて後の設問に答えよ。
 なお、解答はすべて解答题用紙に記入せよ。問題用紙は持ち帰ること。

暫ク有テ、①大蛇（a）此ノ寺ニ追来テ、門閉タリト云ヘドモ、②超テ入テ、堂ヲ巡ル事（b）一兩度シテ、此ノ僧ヲ籠メタル鐘ノ戸ノ許ニ至テ、尾ヲ以テ扉ヲ叩ク事百度許也。遂ニ扉ヲ叩キ破テ、蛇入ヌ。（c）鐘ヲ卷テ、尾ヲ以テ竜頭ヲ叩ク事、（d）二時三時許也。寺ノ僧共此ヲ恐ルト云ヘドモ、怪ムデ、四面ノ戸ヲ開テ、集テ此レヲ見ルニ、毒蛇兩ノ眼ヨリ血ノ③涙ヲ流シテ、頸ヲ持上テ舌嘗ヅリヲシテ④本ノ方ニ走り去ヌ。寺ノ僧共此レヲ見ルニ、大鐘、蛇ノ毒熱ノ氣ニ被焼テ炎盛也。敢テ不可近付ズ。然レバ、水ヲ懸テ鐘ヲ冷シテ、鐘ヲ取去テ僧ヲ（e）見レバ、僧皆焼失テ、骸骨尚シ不残ズ。纒ニ灰許リ有リ。老僧此レヲ見テ、泣キ悲ムデ返ヌ。

問〇 選択した問題の種類を記せ。

問一 傍線部①～④の読み方について歴史的仮名遣いを用いて答えよ。

問二 （a）「此ノ寺」の名前を答えよ。

問三 （b）「一兩度」を現代語訳せよ。

問四 （c）「鐘ヲ卷テ、尾ヲ以テ竜頭ヲ叩ク事」についてこの様子を絵で示せ。

問五 （d）「二時三時」は現在の何時間にあたるか。

問六 （e）「見レバ」について（1）確定条件である理由を記し、また（2）バの二種類の条件構文について説明せよ。

問七 この話をもとに作られた浄瑠璃や長唄で（1）重要な役割を示すものを漢字一字で答え、（2）それに登場する男女の名前を記せ。

問八 『今昔物語集』の説話の類型について簡潔に説明せよ。

問九 『今昔物語集』の書名について説明せよ。

問十 『今昔物語集』が未完の書であるといわれる理由を説明せよ。